

IOT Newsletter

テクノロジストたちの「いま」を伝える
ものづくり大学通信

INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS



Vol.
25

2021年3月5日発行

ものづくり大学は、新型コロナウイルス感染症拡大といった緊急事態下において、在学生の皆さんに、できる限り最高の教育を提供するために一丸となって支援しています。



第58回

技能五輪全国大会

金賞はじめ

5名入賞!



▲金賞受賞の島本さんと完成作品

第58回技能五輪全国大会(主催:厚生労働省、中央職業能力開発協会)が2020年11月13~16日に愛知県で開催され、建設学科から5職種8名の学生が出場し、金賞・銀賞・銅賞・敢闘賞と、5名の学生が入賞しました!左官職種金賞受賞の島本裕美子さん(建設4年)は、2019年度大会の敢闘賞に続いての受賞となりました。また、タイル張り職種は本学として初参加でしたが、小池優香さん(建設4年)が大健闘の銀賞を受賞しました。コロナ禍のため観客なしでの開催となりましたが、式典と競技がライブ配信されました。

入賞者は、2020年12月21日に埼玉県知事公館で開かれた「第58回技能五輪全国大会埼玉県選手団結果報告会」に参加し、島本さんが大会出場の感想を報告、大野元裕知事に左官の技術・技能や、置き作業の内容を説明しました。



▲左から梅津さん・柏原さん・島本さん・小池さん・村山さん

■出場学生

職種	学年	氏名(出身校)	成績
左官	4年	島本 裕美子 (東京 大東学園高校)	金賞
左官	3年	村山 虹太 (北海道 登別明日中等教育学校)	銅賞
タイル張り	4年	小池 優香 (群馬 西邑楽高校)	銀賞
建築大工	4年	柏原 一輝 (兵庫 龍野北高校)	銅賞
建築大工	4年	梅津 弥涼 (東京 大妻中野高校)	敢闘賞
造園	3年	石原 颯大 (埼玉 いずみ高校)	
造園	3年	荒井 富久美 (静岡 科学技術高校)	
家具	2年	鈴木 岳大 (兵庫 龍野北高校)	



技能五輪
動画はこちら



技能五輪
詳細はこちら



金賞受賞により表彰! テレビ・雑誌にも登場

金賞を受賞した島本さんが、この受賞により(一社)日本左官業組合連合会から表彰。2020年12月16日にめざましテレビ(フジテレビ)のコーナー「キラビト!」に出演し、左官作業や趣味のバイクに乗っている様子などが放送され、厚生労働省の広報誌「厚生労働」2021年1月号にもインタビューが掲載されました。

彩の国第28回技能まつり技能競技大会 でも最優秀知事賞を受賞!

銀賞を受賞した小池さんが、彩の国第28回技能まつり技能競技大会(主催:(一社)埼玉県技能士会連合会)にタイル張り作品を出品、最優秀知事賞を受賞。新型コロナウイルス拡大のため技能まつりは中止になりましたが、技能競技大会の一部は実施され、2021年1月20日、受賞に至りました。

▼受賞作品



壁

▶木造耐力壁の強度等を競う、対戦形式のトーナメント大会 ー1(カベワン)グランプリ2020で 学生チームが審査委員特別賞 受賞!

2020年10月24・25日、本学ティンバー実習場で「壁ー1グランプリ(カベワンGP)2020」(主催:壁ー1グランプリ実行委員会)が開催されました。毎年出場している建設学科小野研究室4年生製作の「壁名称:カタオモイ」が、審査委員特別賞を受賞しました。

カベワンGPは、2体の木造耐力壁を互いに引き合わせ、どちらかの壁が破壊されるまで行うトーナメント大会で、施工性・デザイン性・耐震性・環境性などを基準に対戦します。専門学校・大学・ハウスメーカー・プレカスト会社などが参加し、木材に関わる人材の育成と技術の発展を目指しています。



▲トーナメントの様子(左:カタオモイ)



▲小野研究室チームメンバー
奥左から千葉優雅さん、及川智弘さん、柏原一輝さん
前左から鯨井笙汰さん、中村竜清さん、石川琢也さん(キャプテン)



▶ トーナメントの動画はこちら!

開

▶県内5大学1専門学校の11チームが、オンラインで発表 放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉で 学生チームが優秀賞を受賞!

2020年12月17日、「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」(主催:(一社)さいしんコラボ産学官)がオンラインで開催され、県内5大学1専門学校の11チームが出場し、企業の保有する開放特許を活用した商品の発表が行われました。

本学からは、総合機械学科松本宏行教授の推薦で、同学科※4年生チーム「チームIoT」の齊藤泰英さん(静岡 沼津市立沼津高校出身)、黒須祐哉さん(埼玉 日々輝学園高校出身)、勝田瑛也さん(東京 保善高校出身)が、沖電気工業株式会社の開放特許「ワнтаイムID網技術」を活用した「ワнтаイムIDを用い

た飲食店におけるサービス拡張機能」を発表。ワнтаイムID網技術とAR(拡張現実)を組み合わせたアイデアの提案に取り組み、客側と店側双方の視点をもってシステムを構築しました。審査の結果、新規性、収益性、実現性が評価され、本学では過去最高の優秀賞を受賞しました。今後、提案されたアイデアは主催者が企業訪問を行い、商品化に取り組んでいきます。

※4年生は旧学科名の製造学科



▲オンラインで画面上に集合、表彰式

神

▶埼玉県鴻巣市、日枝神社において 社本殿の調査で学生が貴重な墨書を発見!



▲日枝神社本殿正面見上げ(左:川野さん、右:齊藤さん)

建設学科横山研究室の4年生、川野祥吾さん(埼玉 本庄高校出身)と齊藤真子さん(山梨 甲府工業高校出身)が、鴻巣市に所在する日枝(ひえ)神社本殿の建物調査を実施していたところ、狭い床下から建立年代を示す「宝

暦6年(1756)5月吉日」と、彫刻作者名の「大工島村俊実作」と読み解ける墨書を発見しました。

日枝神社本殿壁面の「双六遊び」と同様な彫刻構図が、国宝歎喜院聖天堂(熊谷市)の奥殿にも備わっており、島村俊実の弟弟子で聖天堂彫刻棟梁の石原吟八からの要請を受け、俊実が双方の彫刻制作を手掛けた可能性が出てきました。享保20年(1735)から始まった聖天堂の再建工事は利根川の氾濫や財政難で、延享元年(1744)から宝暦5年(1755)の11年間は工事を休止しており、その間、腕利きの大工たちは近在の社寺造営に携わって食扶ちをつなぎました。おそらく、日枝神社本殿もその内の一つであったと考え



彫刻裏側から墨書発見

宝暦六年
五月吉日
大工島村
俊実作

られます。

江戸彫物大工御三家となる島村家三代目俊実の名はほとんど確認されておらず、今後の発展研究にも寄与する貴重な発見だと言われています。

コロナ禍で大会やイベントが中止・オンライン化する等、例年と違う環境の中、学生たちはがんばって活動をしています！

碧蓮祭実行委員会

初めてのオンライン開催となった本学学園祭「碧蓮祭」。2020年10月31日、11月1日にyoutubeで動画配信されました。研究室、サークル、同実行委員会の企画による動画が配信され、特に単管パイプを使い自ら施工した迷路やアスレチックは力作です。例年開催のものづくり大学同窓会による打ち上げ花火も構内立入禁止など規模を縮小して開催。地域の方々にも楽しんでいただきました。ぜひ動画をご覧ください。



ETロボコンプロジェクト



▲オンラインチャンピオンシップ大会競技中

毎年出場のETロボコン北関東地区大会。2020年度は東京地区選考会を経て念願のチャンピオンシップ大会(全国大会)プライマリークラスへの出場が叶いました。2020年11月22日、オンラインにより競技を行いました。結果、惜しくも受賞は逃しましたが、強豪の中、全国7位の走行タイムとなりました。

活動内容はこちら！



スターリングエンジンプロジェクト

2020年度は、例年の大会「スターリングテクノロジー」への参加は見送り、部内大会を行いました。

M(ミニ速度)クラスの機体を各々が設計・製作し、ミニ四駆規格の車両のタイムを競いました。過去大会の優勝機体より良い記録も出たとのこと。2021年度大会に向けて機体の設計・製作を続けています。



活動内容は
こちら！



宇宙開発研究プロジェクト

2020年10月6日、個人製作の機体により滞空時間と落下位置で点数を決める滞空定点部門を競う部内大会を実施。

2021年3月20日に開催予定の種子島ロケットコンテストオンライン大会に向け、日々機体を製作しています。



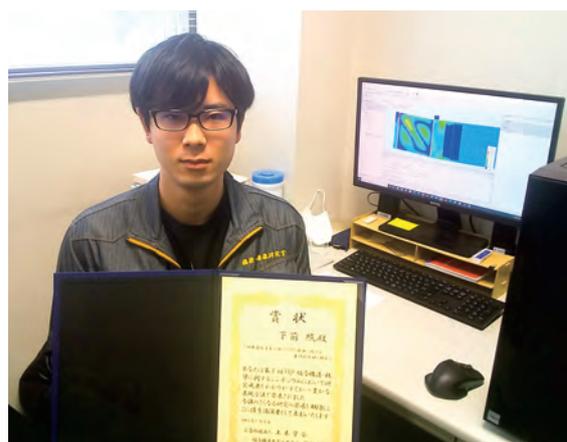
活動内容は
こちら！



土木学会シンポジウムで 大学院生が優秀講演者賞を受賞！

▶自身の論文をライブ配信で発表

2020年11月13日にオンライン開催された、第8回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム(主催:(公社)土木学会複合構造委員会)で、下前照さん(大学院ものづくり学研究所2年・大垣研究室・東京 城東高校出身)が、優秀講演者賞を受賞しました。自身の論文「鋼構造板厚変化部のCFRP補強に関する基礎的実験と解析」について、ライブ配信で発表を行いました。



3Dプリンター 活用技術検定試験に 学生6名が合格！

2020年9月6日、3Dプリンター活用技術検定試験(主催:(一社)コンピュータ教育振興協会)が本学を会場として開催され、総合機械学科の学生6名が合格。3Dプリンターに関する国内唯一の資格で、材料の知識、造形する際の過程、処理工程および活用方法などの広範な知識を問う試験で、産業界で活躍する際に役立つ知識が身につきます。合格した学生からは、「試験内容は難しかったが学科で事前に開講された対策講座により合格できた、今後の学生生活や就職活動に活用したい」との声がありました。本学では2021年度も試験を実施する計画です。

JIA全国学生卒業設計コンクール2020等に 卒業生の作品が展覧

2020年10月3日にWEB審査が行われたJIA全国学生卒業設計コンクール2020(主催：(公社)日本建築家協会)に、山本佑香さん(2019年度卒・建設16期生・戸田研究室)の卒業設計「すみかえるー双葉町の木造住宅改修計画ー」が展覧。受賞は逃しましたが、1次審査を通過しました。

同作品は、埼玉県の審査会で「JIA埼玉優秀賞」を受賞、埼玉県代表として全国コンクール展となったものです。また、福島県双葉郡広野町と富岡町で行われた特別巡回展「Excavation 帯平(ほうぎだいら)ーふるさとを発掘するー」(2020年11月20日～2021年1月31日)にも出展しました。



●同作品は、これまでに以下の受賞、掲載等されています。

- ・2020年3月1日 埼玉新聞朝刊1面 ・2020年4月3日 日刊建設工業新聞
- ・UIFA JAPON Union Internationale des Femmes Architectes 国際女性建築家会議：もうひとつの被災地通信NEWS LETTER No.115 Apr.25,2020
- ・(一社)日本インテリア設計士協会 INTERIOR 優秀学生賞 ・(一社)日本建築学会 第61回全国大学・高専卒業設計展示会 出展
- ・株式会社近代建築社 全国大学建築系学科卒業設計優秀作品集 卒業制作2020 掲載
- ・総合資格学院出版 (一社)埼玉建築設計監理協会主催 第20回卒業設計コンクール作品集 掲載

第50回機械工業デザイン賞IDEAで 卒業生が開発リーダーとなった製品が入賞!

小竹恭太さん(2005年度卒・製造技能工芸(現・総合機械)2期生・シチズンマシナリー株式会社勤務)が開発リーダーとなった「くし刃ATC搭載 主軸台移動形CNC自動旋盤 Cincom L20 ATC」が、第50回機械工業デザイン賞IDEA(主催：株式会社日刊工業新聞社)で入賞しました。

小竹さんは現在、同社開発本部開発部製品開発1課でリーダーを務めています。

機械工業デザイン賞IDEAは、工業製品のデザイン振興と発展を目的とした顕彰事業で、2020年12月16日に贈賞式が行われました。



▲贈賞式：中央が小竹さん

小竹さんのコメント
(日刊工業新聞サイト)



卒業生の研究ノートが 学術雑誌に掲載



佐藤香里さん(2019年度卒・建設16期生・土居研究室)の卒業研究をもとにした研究ノート「安倍晴明伝説地の四半世紀・覚書」(佐藤香里・土居浩)が、学術雑誌「比較日本文化研究 第20号(風響社・比較日本文化研究会編)」に掲載。

卒業生が指導した高校生たちが 木製ジャングルジムを制作・寄贈



▲高校生への指導：左が兵頭さん



▲完成したジャングルジム

松山聖陵高等学校建築科(愛媛県)に実習助手として2020年に着任した兵頭冬尉さん(2019年度卒・建設16期生)が、同校の生徒たちを指導。制作されたヒノキのジャングルジ

ムが、愛媛県松山市内の幼稚園に寄贈されました。兵頭さんは技能五輪全国大会の建築大工職種で敢闘賞を受賞するなど、在学時に培った経験を職務に活かしています。

TOPIC

テレビ出演情報



●2020年12月23日放映
「極上!三ツ星キャンプ(BS日テレ)」
建設学科の三原齊教授が、週末移住を想定した古民家のリノベーション企画に指南役として出演しました。

●2021年1月2日放映
「審査員長・松本人志(TBS)」
総合機械学科の的場やすし客員教授、菅谷研究室の研究、砂を流動化する「流動床インターフェース」と、的場客員教授がスタジオに登場。松本人志さんが体を張って、流動床インターフェースを利用した「瞬間落とし穴」を体験しました。

教育の充実と学生生活の活性化を図るため、2021年4月から授業時間・授業期間が変わります

本学では、授業提供方法について検討を行い、当該学年における設置科目単位の確実な修得を図ること、また、学生の主体的な授業外学習・活動を活性化することなどを目的として、2021年度から授業時間および授業期間の見直しを図ります。

- ① 1コマの授業時間を90分から100分に延長します。
- ② 授業の開始時間が9時からとなり、5限目の終了時間は18時50分となります。昼の休憩時間は12時30分から13時30分までの1時間となります。
- ③ 各クオータの授業期間は8週から7週となります。各クオータの7週目の後の1週間強の期間と5限目は、補講・補習・補充授業の実施や、学生プロジェクトや部活動などに参加することで学生生活の活性化を図るために活用します。

2020年度以前		2021年度以降
9:20 10:50	1限目	9:00 10:40
11:00 12:30	2限目	10:50 12:30
13:20 14:50	3限目	13:30 15:10
15:00 16:30	4限目	15:20 17:00
16:40 18:10	5限目	17:10 18:50

現場に活かす 建設学科の実践的な安全教育

現場で即戦力となる実務知識を身につけるため原寸モデルでの実習も多い建設学科。「現場安全実務必携」を入学時に全員に配布するとともに、現場での様々な場面での確かな判断が下せるよう、実践的Q&A演習を授業に取り入れています。



その一例は、須藤英明非常勤講師(鹿島建設株式会社)が発案し、実際の現場での新規入場者教育にも使われている「安全クイズ」。参加型・双方向的な安全指導で、現場での大切なルールの理解が深まっています。

ものづくり大学同窓会が 在学生・卒業生向けに講習会を開催

ものづくり大学同窓会の主催で、在学生・卒業生向けに「1・2級建築士特別講座」および「危険物取扱者試験準備講習会(乙4種/甲種)」が開催。在学生・卒業生のキャリアアップを支援したいというご厚意によるもので、特別価格で受講でき、同窓会から支援金も支給されました。



「1・2級建築士特別講座」は38名(1級8名、2級30名)が全10日間、「危険物取扱者試験準備講習会」は13名が全2日間のプログラムを受講しました。

総合機械学科 創造プロジェクト、外部審査員を招いた審査・発表会を開催

総合機械学科3年生の授業「創造プロジェクト」。チームで発案したものを開発するための企画、構想、設計、製作、組み立て、検査、性能評価を行い、創造力や表現力を養うとともに、技術と製品開発との関係を理解し、開発技術者としての実践力を習得する授業です。1年生から行っているものづくりに関するチームワーク・アクティブラーニングの集大成となります。2021年1月22日、企業社長等のものづくりのプロを外部審査員として招いた審査・発表会が行われ、3つのチームが受賞しました。



●優秀開発賞

チーム名: Team side rapids
製品名: アンチ感染症
マーカー

椅子に取りつけることを想定した、距離に応じて発光色が変化するライト



●最優秀開発賞

チーム名: アットホームな職場
製品名: 歩行補助器具

視覚障がい者が事故に遭わず
まっすぐ歩くための補助器具



●優秀開発賞

チーム名: MOX
製品名: ルーティンワーク
誘発アラーム

寝坊等防止のための検知型アラーム(マグカップを取るとスマホのアラームが止まる等)

彩北未来プロジェクト 10者による 連携協力協定締結

2020年11月12日、3市(行田市、加須市、羽生市)、1商工会議所(行田商工会議所)、3商工会(加須市商工会、羽生市商工会、南河原商工会)、3大学(埼玉純真短期大学、平成国際大学、ものづくり大学)は、連携・協力に関する協定を締結しました。

埼玉県北東部に位置する3市の圏域特性および10者の特色やリソースを活かし、高等教育等の教育および地域連携活動の分野で産官学相互に連携・協力をを行い、地域社会への貢献を果たすとともに、連携事業を通じて優れた人材の育成に寄与することを目的としています。

行田さくら ロータリークラブより さくら奨学金授与



▲左:行田さくらロータリークラブ長谷川会長、右:赤松学長

2020年11月24日、さくら奨学金授与式を実施。2002年から行田さくらロータリークラブが年間4名に年額12万円を支援、これまでに奨学金を授与いただいた学生は70名近く。今回はコロナ禍の配慮で6名に拡充いただきました。

就業者向け 社会人教育プログラム オンデマンド講座を開講

2020年11~12月、建設業の若者対象の社会人教育プログラム「建築生産入門」を全6回のオンデマンド講座として開講。建設現場における施工管理や高度な作業の円滑な運用につなげる知識習得でスキルアップを目指します。

オンライン彩の国 ビジネスアリーナに出展

ビジネスマッチングイベント(主催:埼玉県等)として、2021年1月8日~2月8日にオンラインで開催され、産学・知財コーナーに出展。5件の研究シーズを紹介、2件の産学連携支援シーズの発表と本学へのWEBツアー訪問を行いました。

ナイトバザールの屋台看板を 設計・制作、社会実験

建設学科今井弘教授と研究室の学生が、熊谷市のナイトバザール「星川夜市」のための屋台看板を設計、制作。屋台テントとしてテーブルを併用し、コンパクトに収納できるものです。



2020年11月14日に星川夜市実行委員会の実験的な出展ブースとして使用され、卒業制作の一環として取り組んだ内田直樹さん(建設4年・埼玉 秀明英光高校出身)らが無人販売も提案し、社会実験としてアンケートを取り、利用者の様子や販売状況などをまとめました。

酒巻久氏(キャノン電子株式会社代表取締役社長) より著書を寄贈



▲酒巻久文庫

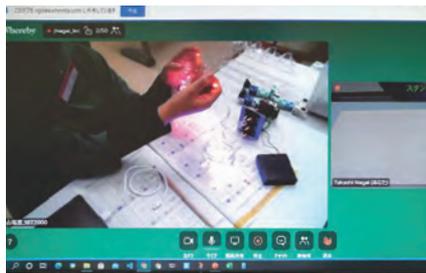
酒巻久氏より、著書「仕事の哲学 働く人が自ら考え、行動する会社とは」(PHP研究所)を寄贈いただきました。酒巻氏は社内改革に先進的に取り組まれ、本学には開学当初から期待を寄せていただきました。2015年には多くの著書を寄贈、「酒巻久文庫」として図書情報センターにコーナーを設置し、学生・教職員に貸し出しています。

さいたま市青少年 宇宙科学館で ワークショップを実施



2020年11月22日、総合機械学科の松本宏行教授と学生が、さいたま市青少年宇宙科学館で「月面ローバーミニカーをつくらう!」を実施。小学校低学年を対象に3Dプリンターで製作した部品を搭載したミニカーを作りました。

遠隔でプログラミング教室 PICAPICAプログラミング を開催



2020年10月31日、総合機械学科の永井孝准教授が信州大学と共同で、長野市と行田市の小学生を遠隔でつなぐプログラミング教室「PICAPICAプログラミング」を開催。プログラミングした通りにイルミネーションを光らせる体験をしました。

ショッピングセンターに コンクリートモニュメント (学生作品)を展示



建設2年「RC構造物施工・仕上および実習」で2019年に製作したコンクリートモニュメントのうち4つを、近隣のショッピングセンター「ユニクス鴻巣」に貸し出しており、地域のみなさんに親しんでいただいています。

2021年、開学20周年！ 感謝を綴る1年へ！！

ものづくり大学は産業界、経済界から求められ、2001年に開学した全国でも唯一無二の工科大です。

現在も、従来の工科大とは全く発想を変えた、多くの実習科目と

長期間のインターンシップを教育の柱として、日々厳しい研鑽・努力を重ねています。

こうして開学以来、積み上げてきた「ものづくり魂」を纏った多くの卒業生は、全国各地で活躍しています。

開学20周年を迎えた今、学内外の皆さんに「周年事業・周年行事」を通して感謝の気持ちを伝え、

これまで以上に愛され、選ばれる大学づくりを目指したいと考えています。



開設

20周年記念 特設サイト



特設サイトへ
アクセス！



<http://www.iod.ac.jp/20th/index.html>

20周年記念ロゴデザインの紹介や式典、講演会の詳細、寄付金募集、支援者メッセージなどを掲載していきます。

募集開始

20周年記念 事業寄付金



本学は「社会に貢献する教育研究」や「時代の要請に応える人材の育成」拠点として活発な活動を続けています。今後も魅力ある大学として、引き続き社会貢献、人材輩出を安定して行うには、時代に即応した新しい教育研究設備の導入や既存の設備の更新は不可欠であり、財政強化のため2021年4月から寄付金を広く社会に募ります。

制定

20周年記念 ロゴデザイン

20th
Anniversary 2001-2021

20th
Anniversary 2001-2021

本学が20周年を迎えることを明確に表現するため、数字と大学名英文表記を略した欧文の組み合わせとしました。「20」+「IOT」(Institute of Technologists)、この2つを合体させ、先人が築き上げてきた歴史への感謝と本学をこれからも進化発展させることの意味の同時性を表わしています。

設置

20周年記念
ロゴデザインモニュメント

「開学20周年ものづくり大学」



建設学科2年生の手で製作されたコンクリート製のロゴデザインモニュメントが、2021年1月に完成しました。指揮は建設学科の澤本武博教授、彩色指導は建設学科の大竹由夏講師。高さ180cm、全長21メートルを超える大迫力のコンクリートモニュメントです。

2021 OPEN CAMPUS イベントもたくさん! 開催!!

オープンキャンパス

3/21日	3/28日	5/23日
6/20日	7/4日	7/11日
7/22日(祝木)	7/31日(土)	8/1日
8/14日(土)	8/15日	8/22日
9/5日	開催時間 10:00~14:40 (受付開始 9:30) ※ 7/22(木)のみ 11:00~ (受付開始 10:30)	



体験模擬授業
実際に大学の授業を体験してみよう



なんでも相談
学生生活、入試対策等、なんでも相談してみよう!



キャンパスツアー
特長的な施設を覗いてみよう

イベントもたくさんお出迎え!



2022年度 入試TOPIC

2022年度からの新たな入試

2022年度入試から、新たに2つの入学試験が導入されます。高校での活動や、ものづくりへの熱意を評価します。

- **総合型選抜(高大接続入試)**
オープンキャンパス参加が必須
- **一般選抜(小論文面接入試)**
出願時に小論文を提出

特待生制度

- **ものづくり特待生入試**
- **学力特待生入試**
- **共通テスト特待生入試**
- **数学特待生入試**

授業料が最大352万円免除になる入試。年度ごとに審査はありますが、4年間継続可能です。入学金免除の入学試験と併願することができます。

入学金が免除になる入学試験

- **情報スカラシップ入試**
- **教養スカラシップ入試**
- **女子スカラシップ入試**
- **専門学科・総合学科特別入試**

入学金20万円が半額または全額免除になる入試。特待生入試と併願することで1年次の学費が最大108万円免除になります。

受験前に申請できる奨学金

- **ものづくり大学生生活支援奨学金**
給付額 1人10万円

高校3年次に申請と採用の確認が可能です。奨学金が受け取れるかを確認してから受験することができます。

ものづくり大学1年生の「もっくん」が、大学生活を紹介しています。ぜひご覧ください!!

もっくん日記 毎月更新中!



予約はこちらから!

OPEN CAMPUS 予約サイト >



QRコードからフォロー!

OPEN CAMPUS Instagram >



※新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため、内容を一部変更して開催することがあります。

★ 学内イベント実施報告 ★

埼玉県立岩槻北陵高校 2年生がISを体験!!

2020年11月16~19日、埼玉県立岩槻北陵高校の2年生5名が、インターンシップを体験。铸造や機械設計製図、3DCAD・3Dプリンターなど、様々な授業を体験しました。



埼玉県立大宮工業高校 2年生がISを体験!!

2020年11月18・19日、埼玉県立大宮工業高校の2年生7名が、インターンシップを体験しました。建築模型の制作に続き、木づくりの体験などを行いました。



公式サイト

大学HP



バックナンバー



公式SNS

